

News Release

2020.7.20

シノケン インドネシアで「桜テラス」第 2 号物件着工、続けて 3 号 4 号も

株式会社シノケングループ（東京本社：東京都港区、代表取締役社長：篠原英明、東証ジャスダック市場 証券コード 8909）傘下で、インドネシアにて不動産開発事業を展開する PT. Shinoken Development Indonesia（シノケンデベロップメントインドネシア、以下、「SKDI」といい、SKDI を含むグループ全体を総称して「シノケン」という。）が、インドネシアの首都ジャカルタ中心部において、「桜テラス」第 2 号物件の建築工事に着手しましたので、お知らせいたします。

シノケンの「桜テラス」シリーズ

「桜テラス」は、シノケンが日本国内で開発・施工・販売・管理までを一貫体制で行っているアパートメント「ハーモニーテラス」を、インドネシア向けにローカライズしたブランドです。日本と同じ一貫体制をインドネシアにおいても構築し、2019 年に竣工した第 1 号物件はサービスアパートメントとして、ジャカルタ中心部に勤務するビジネスパーソンや駐在員の方々からご好評いただき、高入居率にて稼働しております。また、[2020 年 4 月 13 日付のリリース](#)の通り、「ロフト付きの居住空間」がインドネシア政府より知的財産として認定されましたが、今回の 2 号物件におきましても、これを採用しシノケンの設計力と知見を活かしたロフト付きの居住空間となります。

【「桜テラス」第 2 号物件の概要及びイメージ画像】

土地面積	512 m ²
予定総戸数等	総戸数：ワンルーム×60 戸、駐車場区画数：17 区画
構造等	鉄筋コンクリート造 地下 1 階、地上 4 階
予定完成時期	2021 年秋頃
施工	PT. Mustica Cipta Kharisma（シノケン傘下の現地ゼネコン企業）
交通	建設中の LRT（モルレル）の新駅まで徒歩約 10 分



REIT 組み入れ物件として、第 3 号、4 号も同時着工へ

シノケンのインドネシア不動産ファンド事業を展開する PT. Shinoken Asset Management Indonesia（以下、「SAMI」という。）は、同国における外資系企業として初めて REIT 運営のライセンスを取得しているため、シノケンは上述の開発～管理に加え、出口戦略まで取れる体制を構築しております。SKDI としては、「桜テラス」を完成させた後は、そのまま保有し、管理・運用しながら継続的に収益を得ることや、REIT 向けの売却によって開発利益を得るという選択肢を持ち、今後、タイミングをみてベストな選択を採用することができます。SAMI としては、REIT への売却を行った際には、資産運用フィーを収益として継続的に計上することを見込みます。すでに「桜テラス」の用地仕入れは第 6 号物件分まで完了しており、まもなく第 3 号、4 号物件も着工すべく準備を進めており、第 2 号・3 号・4 号の 3 棟同時立ち上げ体制で開発を進めてまいります。

【「桜テラス」第 3 号物件の概要】

土地面積	352 m ²
予定総戸数等	総戸数：ワンルーム×38 戸
構造等	鉄筋コンクリート造 地上 4 階
予定完成時期	2022 年春頃
施工	PT. Mustica Cipta Kharisma（シノケン傘下の現地ゼネコン企業）
交通	MRT（地下鉄）ステアブディ駅 徒歩 8 分

【「桜テラス」第 4 号物件の概要】

土地面積	218 m ²
予定総戸数等	総戸数：ワンルーム×33 戸
構造等	鉄筋コンクリート造 地上 4 階
予定完成時期	2022 年春頃
施工	PT. Mustica Cipta Kharisma（シノケン傘下の現地ゼネコン企業）
交通	MRT（地下鉄）ステアブディ駅 徒歩 8 分

今後も引き続き、インドネシア首都ジャカルタにおいて、「桜テラス」シリーズの更なる展開を進め、不動産と金融ビジネスの幅を広げるとともに、将来的には大規模ハイライズレジデンスの開発や REIT への組み入れ・拡大なども視野に、シノケンの国際不動産戦略を推進してまいります。

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社シノケングループ グループ広報 IR 室
東京都港区浜松町二丁目 3 番 1 号 TEL 03-5777-0089 FAX 03-5777-0108
WEB <https://www.shinoken.co.jp/> MAIL skg_pr@shinoken.co.jp